

## ありがとうございます みなさん

神戸2001  
2001.4.21  
帰神



ランナーのゴールを花筒を持って歓迎してくださいました



市民ランナー代表の越智祐子さんから報告が行われました



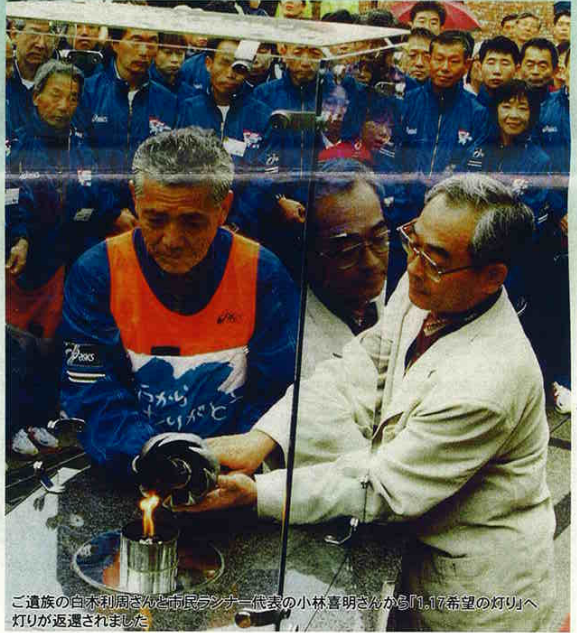
たくさんの方々に迎えられ市民ランナーが東遊園地に帰ってきました



全員が書いたお祝い絵手紙の一部を山の手小学校6年生のあまさんにお贈りしました



ランナーにお祝いのお言葉をかける中山会長



ご遺族の白木利雄さんと市民ランナー代表の小林喜明さんらから「希望の灯り」へ灯りが返還されました



全国ランを終え、達成感に満ちあふれるランナー

47都道府県69都市で交流。6620kmを走破!!

あの大地震から7年目となる、今年の1月17日。「KOBE 2001 ひと・まち・みらい」のオープニングからスタートし、4月21日までの95日間。私たち「KOBE 2001 届け！希望の灯り 全国へ」一行は、震災によって奪われたすべての命と生き残った私たちの思いを結びつなぐ、この希望の灯りとともに、全国から震災当時いただいた「やさしさ」や「思いやり」に感謝の気持ちをこめ、人と人との絆や防災の大切さをお伝えするために、各地をリレーでつなぎながら走りました。沿道では私たちの姿に、クラクションを鳴らしたり、手を振ってくれたりといった声援をいただきました。訪問した各地では、被災地に駆けつけてくださった方、県外被災者の方などが、社会福祉協議会ボランティアセンターの皆さんとともに温かく出迎えてくださいました。各地でいただいた、力強い声援に思いが込められた絵手紙による激励など、そのすべてが、私たちランナーの心にガンガン響いてきました。本当にありがとうございました。

再び、こうして希望の灯りが戻ってきた神戸と、これからも灯りつづける各地とは、決して一時的ではない絆が生まれたことを感じました。

訪問先の中には、神戸と同じように、現在も街ぐるみで復興に向けて取り組んでいるところもありました。有珠山の噴火による被害の大きかった虻田町・洞爺湖温泉郷のみなさんや三宅島から避難されているみなさんにもお会いしました。虻田町では、噴火の傷跡が残る所であっても、洞爺湖のあの目の覚めるような美しさや、復興に向けて取り組む若者の活躍を見て、こちらが逆に励まされたような気持ちになりました。三宅島のみなさんからは、「再び、島に戻れる日を信じて頑張る」と力強い言葉をいただきました。

各地で私たちが経験したことの一つ一つを、様々な形でこれから神戸市民のみなさんにお伝えしていきたいと思っております。

神戸市民のみなさん、全国のみなさんに励まされ、こうして無事に神戸に帰ってくることができました。本当にありがとうございました。

平成13年4月21日「KOBE 2001 届け！希望の灯り 全国へ」  
神戸市民ランナー一同